

(4) 村に残る古いもの

村で大切にしているもの

歴史の古いわたしたちの湯川村には、むかしから伝わっている大切なものがたくさんあります。その中には、国宝の仏像3軀、国指定重要文化財10件、県指定重要文化財1件、村指定の文化財が21件あります。

国宝



木造月光菩薩立像

木造日光菩薩立像

木造薬師如来坐像
(勝常寺・勝常)

勝常寺薬師堂に安置されている本尊の薬師如来のどっしりとした重量感、左右のわき侍の菩薩のすらりとした整った美しさは、その前に立つ人の心を引きつけます。ともに、東北の仏像では唯一の国宝です。私たちの大きなほこりです。

国重要文化財

勝常寺は大同2年(807年)徳一上人によって開かれたと伝えられています。建てられた当時はたくさんの建物がありましたが、現在残っているのは、この薬師堂だけで、室町時代はじめごろの再建といわれています。



勝常寺薬師堂(会津中央薬師堂)